

国保料引き上げ中止

市・道議会に請願を提出

北海道

北海道生活と健康を 民健康保険料の値上げを守る会連合会（道生）が確定的なことから、連）は、この間の自治 札幌市議会に19団体、体交渉で、来年度の国 道議会には6団体連名



請願書を受け取る真下紀子道議（左から3番目）

で議会請願を提出しました。

札幌市の国保運営協議会で、来年度の国保

料が一世帯平均4137円値上げして15万472円になることが発表されました。これは

国保世帯の年収の10%を超え、協会けんぽと比べて2倍の負担になっています。

2月13日の札幌市議会への請願では、「札幌市が一般会計から29億円の繰り入れをするなら引き下げができる」「道の見解でも」都道府県化となっても市

申告書を書きながら学習



学習では（さん）

少人数でしることも、一許せんたが、守るな。今年仲間新聞の「税の学習会で終わりました。来年こそ申告シリー「運動」にしていきな。松本仁子通信員、写真は長谷川さかみ

町村の判断で繰り入れはできる」とのことだったので、実施するよう求めました。

また、「子育て世帯の負担軽減一のため、すでに政令市で横浜市や仙台市が独自施策を実施している例を挙げ、札幌市も減免制度をつくることを求めました。6団体7人で6会派に申し入れました。

15日、北海道労働組

合総連合、北海道社会

21日、提出していた

保障推進協議会、北海道商工団体連合会、道生連の4団体が集まり、5会派に申し入れました。1990年代には引き上げ抑制のため道費12億円を投入した実績もあります。

請願は高すぎて払いたくても払えない状況にある道民の命と暮らしを守るために道費投入の決断を求めています。

（岡崎恵治通信員）

